

# PROLOGUE

木二中 学校だより No.36 令和7年2月3日  
校長 山元 竜二

木更津市立木更津第二中学校  
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地  
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233

E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp  
<https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j>



## 諺(ことわざ)：「人の不幸は蜜の味」、類義語：「幸災樂禍」(こうさいらっか)とは

ネットニュースに限らずオールドメディアと言われて久しい地上波の報道番組を視聴していて、ウンザリしてしまうのは決して私だけではないと思うのですが、木二中生の皆さんはどうですか？

トップタレントの不祥事に端を発した某テレビ局の大混乱、某自治体の百条委員会委員であった県議会議員への誹謗中傷問題、長野駅前連続殺傷事件、そして未だ終息の見えない闇バイトによる強盗事件…。

目を覆い、耳を塞ぎたくなるニュースばかりが氾濫している今の世の中、いったいどうなっているのだろう。公教育の一教育者として、大人として、親として、手塩にかけた子どもたちを世に送り出すことにこれだけ恐怖を感じたことはありません。

間もなく迎える卒業という門出は、義務教育の修了と新たな人生の第一歩をこの上なく祝うはずの大イベントなのに…。無限の可能性を秘めた若者たちの門出がまるで罰ゲームであるかのような、そんな世の中に誰がした？誰が責任をとるのだろうか？(私の個人的な私見・愚痴…、嘆いても何も始まらないことも承知)

今回のお便りを通じて「幸災樂禍」(こうさいらっか)という四文字熟語を木二中生の皆さんに紹介します。特に間もなく高校生になる3年生の皆さん、ちょっとだけ世の中への旅立ちに近づいた皆さんだからこそ、心のどこかに忘れずに閉まっておいてほしいと思います。

「幸災樂禍」とは、簡単に言うと「人の不幸は蜜の味」ということ。他人の不幸を喜ぶこと。人の災いを幸いとして喜び、災いを楽しむ意から。「幸災」は人の災難を幸福として喜ぶことを意味し、「樂禍」は災いを招くことを楽しむことを意味しています。(goo辞書より)。この四文字熟語、そして「人の不幸は蜜の味」という諺は、前述のニュースのようにあまりにも今の世の中にピッタリと当てはまる言葉ではないかと思いませんか？成功者の転落人生をこぞって注目の的ならまだしも、攻撃的にしていないか？読者数が伸びる、視聴率がとれる、という理由だけで。裏もとらずに他人のプライベートを晒すにとどまらず心ない誹謗中傷で攻撃していないか？PV数(Pageview=サイト内で特定のページが開かれた回数=ユーザーの収入源?)を獲得するためだけに。金儲けするためだけに。命を落としている人もいるというのに。

ところが、この諺や「幸災樂禍」を詳しく調べてみると、「他人の不幸を喜ぶこと」は、不謹慎なことでもなんでもなく、むしろ科学的に人間が持つ本能であるということが証明されているのだそう。(人類に限らず生物は食べ物や異性を奪い合う生存競争の中で嫉妬や妬みという感情が必要だったから。自らの子孫を残すために他者の不幸が自己の幸福になるから。興味がある人は調べてみてください。)

確かに多かれ少なかれ、個人差はあるにしても誰にだって嫉妬心、妬みという感情があるのが普通で、「嫉妬や妬みやっかみは、悪しき心である」というのは、ただ本能的に持っている感情を道徳的・倫理的・宗教的に包み隠しているだけにすぎないのかもしれないですね。科学的に証明されているのだから、きっとそうなのでしょう。(ここからは私の勝手な私見)では、その道徳的・倫理的に隠している悪しき心の処理の仕方を間違えなければいいだけの話ではないのか？自己が本来持っている悪しき心と言われている妬みの感情をアンダーコントロールする。他者に対する嫉妬心や妬みを持っている自分自身を素直に受け入れ、その感情を支配下におき、それを他者に対する誹謗中傷、暴力といった攻撃に転化するのではなく、「自分も負けずに頑張ろう」という自らのモチベーションに転化する。これって、難しいことなんだろうか？

女優の上野樹里さんがX(旧ツイッター)にポストした内容が心に響きます。嫉妬心や妬みはあっていい。道徳的にだろうが倫理的にだろうがそれを隠す(支配する)ことは欺瞞(ぎまん)ではない。それらすべての感情を含めた上で、他者を慈しむ(いつくしむ)心が大切なのではないのか？とそう思いたい…。

人の不幸は蜜の味とを感じる人は、自分が不幸せだというバロメーター。自分はマシだと慰める。そうやって他に問題があるのに誤魔化す。だから改善されない現実のループ。もし、みんなが幸せなら、人の不幸は涙の味。悲しくて皆で祈りを捧げるでしょう。

(女優：上野樹里2021年10月27日16:58にポスト X(旧ツイッター)より)

## 残り時間が過去最短…終末時計「人類滅亡まで89秒」

1/29(水) 10:32配信 Yahooニュース テレビ朝日報道局より

人類が滅亡するまでの時間を象徴的に示す「終末時計」の残り時間が、過去最短の「89秒」になったと発表されました。

「終末時計」は人類滅亡の時刻を「午前0時」と想定し、人類が生み出す脅威を科学や安全保障などの観点から分析して、どれほど危機が迫っているかを象徴的に示します。

今年はロシアのウクライナ侵攻や中東情勢のほか、核の脅威や気候変動などの理由を挙げました。去年までの2年間は「90秒」でしたが、今年は1秒早まって過去最短の「89秒」になりました。発表したアメリカの団体は、「これは世界のすべての指導者に対する警告だ」と訴えています。

【テレビ朝日報道局】

この終末時計の残り時間は、ノーベル賞受賞者のほか、物理学や政策学などの専門家らが過去1年の世界情勢に基づいて決め、毎年発表するものだそうです。人類存亡に関わる問題の解決を呼びかけるのが主な目的なんだそうですが、1947年に7分で始まり、冷戦終結とアメリカ・ソ連(ロシア)の核軍縮を受けた1991年には17分まで延びたにもかかわらず、その後は短くなる一方だとか。

日本だけでなく世界が人類滅亡に向かってひた走っているというこの現実。(識者にそう判断されてしまっているという現実)

年末に身体を壊し、自らの命の限界を強く意識してしまってから、こんなニュースが気になってしょうがない…。未来ある子どもたちにとって心豊かな、健やかな、そして優しさで溢れた世の中であれ(世界も国内も)と願って止みません。